



2020年3月12日

報道関係各位

S I Pスマート物流サービスの調査研究業務の研究責任者に 選定されました

株式会社日通総合研究所（代表取締役社長：青山陽一）は、第2期の内閣府戦略的イノベーション創造プログラム（S I P）における「スマート物流サービス」の公募において、医薬品医療機器分野のスマート物流サービス実現に向けたプロトタイプデータの構築と概念検証の研究開発テーマに応募し、この度採択されました。弊社は、物流全般の調査研究やコンサルティング業務を行っている物流シンクタンクであり、これまでも国土交通省や各省庁からの調査研究委託業務を数多く受注してきた実績がございます。

S I Pスマート物流サービスについて

S I Pスマート物流サービスは、個社、業界の垣根を越えてサプライチェーン全体の物流・商流情報を収集し、物流・商流データ基盤に一元的に蓄積することで、サプライチェーン全体を可視化し、新たな価値を創出し提供していくことを目指しています。この物流・商流データ基盤には、荷主と物流事業者などのサプライチェーンの関係者から適切に提供された情報を、計画的で効率の良い物流や、消費データに基づく生産等高付加価値な商流を研究・実現するために、データの活用を希望する適切なユーザーに提供する機能が必要となります。さらには、事業主・企業の多種多様で大量のデータや将来には消費者の個人情報も取り扱うと予測されるため、取り扱いルール等の明確化・高速かつ耐改ざん性・オープンデータに対する透明性・秘匿性、高いセキュリティ機能の確保も不可欠となります。

開発の背景

医療機器の物流では、誤出荷や遅延の発生が生命の危険にも繋がることから、非常に高い精度の個品管理（トレーサビリティ等）が求められています。特に整形外科（人工関節等）や循環器（カテーテル等）の医療領域では、治療や手術に必要な多種大量の医療機器の手配や機器の滅菌期限等の管理、機器の使用実績等の正確な把握が求められるだけでなく、短期貸出や長期貸出等、医療ニーズに対応した非常に複雑な物流（多品種少量、多頻度、緊急対応等）に対応する必要があります。また、昨今話題となっております物流クライシスは当業界においても差し迫った問題となっており、物流・商流データをプロトタイプデータの構築において共有し、活用することなどによって構築された、高い精度と生産性を有する効率的な物流サービスの提供が強く求められています。



図表1：対象製品イメージ

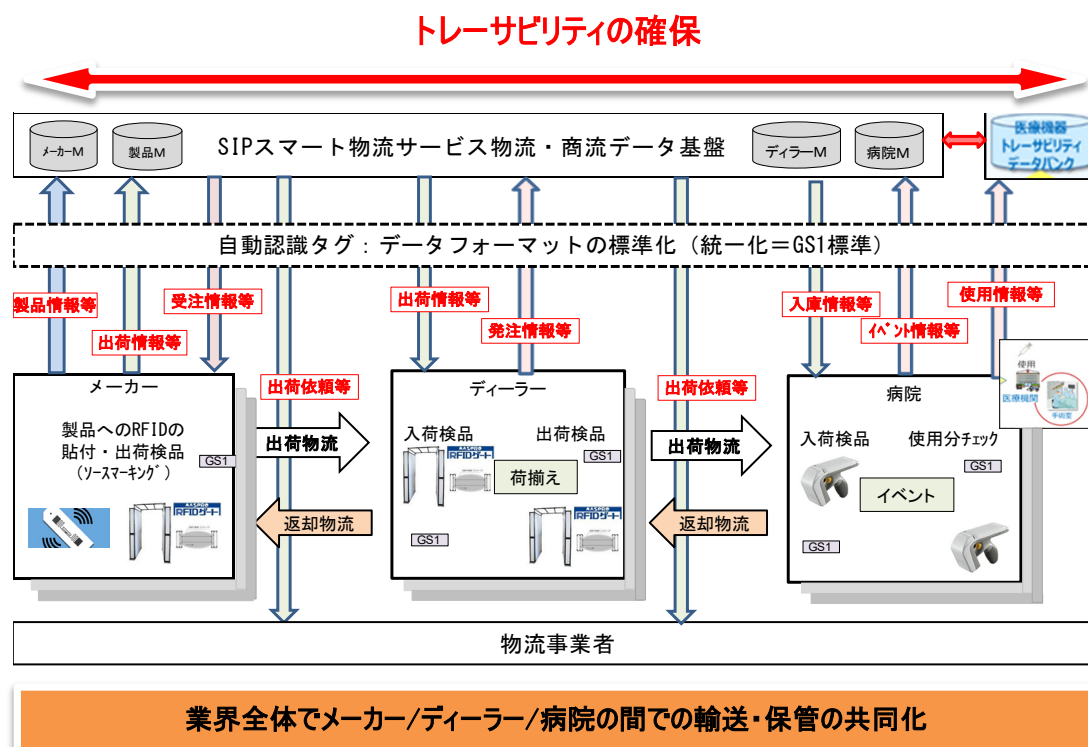


研究概要

今回の研究は、医療機器業界内で以前より利用が進んでいる「GS1コード」の活用と、既に一部のメーカーで先進的に採用されている自動認識タグ等を使って、医療機器メーカーからディーラー、ディーラーから病院、さらには病院内での物流を、データ等を活用して一元的に管理していくためのデータ基盤の構築を目指します。また、このデータ基盤を活用し、トレーサビリティを確保することで各流通段階における在庫の削減等サプライチェーン全体の効率化や生産性向上を進めるとともに、物流拠点の集約化や共同化、さらには共同配送の実現など効率的な物流システムの構築や運用に関して実証するものです。

本研究は医療機器分野を対象に行いますが、ここで開発するプロトタイプの商流・物流データ基盤は、医療機器分野にとどまらず、将来的には、国内の物流各社、様々な業種のメーカー、小売等の既存データ（生産情報、在庫情報、輸送情報、物流リソース稼働状況、販売情報等）、IoT等で常時吸い上げられる膨大なデータ、交通情報等の公的情報等の膨大なデータと連携・連動させることで、業界の垣根を越えたサプライチェーンの実装に貢献するものと考えています。

図表2：研究のスキーム（イメージ）





なお、本研究は流通経済大学ならびに東京医療保健大学、国立国際医療研究センターの支援と協力のもとに研究を進めてまいります。また、本研究開発に対する当該業界の関心は非常に高く、実証実験には（一社）日本医療機器テクノロジー協会、（一社）日本医療機器販売業協会、（一社）流通システム開発センター、（一社）米国医療機器・IDV工業会などにもご参加・ご協力いただく予定です。

本件に関するお問い合わせ先

(株)日通総合研究所 総務ユニット 担当：椎名・村瀬
TEL：03-6251-3283
e-mail：shinah@soken.nittsu.co.jp

＜サプライチェーン全体の生産性・効率性の向上に取り組む内閣府プログラム「SIP スマート物流サービス」を取りまとめる田中従雅 PD(プログラムディレクター)からのメッセージ＞

Eコマースの拡大やドライバー不足等から「物流クライシス」が叫ばれている今、製造・物流・販売等の事業者が連携して「物流・商流データ基盤」を構築し、モノの動きや商品情報を総合的に扱うことによって、サプライチェーン全体の生産性、効率性を向上することが期待されています。「SIP スマート物流サービス」では、この期待に応えるべく取り組んでおり、今回、その一翼を担って頂くため、本プロジェクトを選定致しました。

「SIP スマート物流サービス」に関するお問い合わせ先

国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所
「SIP スマート物流サービス」 管理法人 担当：根木・水谷
TEL：03-6261-7283

「SIP スマート物流サービス」とは？：
<https://www.pari.go.jp/sip/about/about.html>